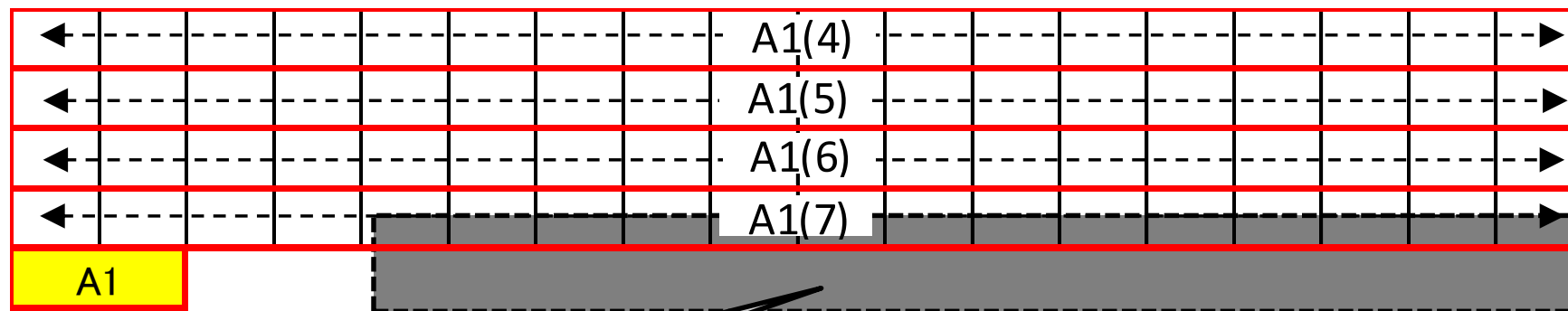


電流値の比較 影ありと無しの比較



前列の
アレイ影

概要

- 接続箱A1の6番回路と7番回路の電流値を比較しました。
- 6番回路は影による出力低下の影響はありません。
- 7番回路は18直列中14枚、影がかかっています。（1セル半ほどの影が14枚）

アレイの影



A1-6番回路

A1-7番回路



- セル1枚半ほどの影が18直列中14枚にかかっています。

A1の6番回路 7番回路



- 影がかかっていない6番回路の電流値が5.9Aに対し、前のアレイ影がかかっている7番回路は0A。まったく発電に寄与していません。

瞬間発電量の説明



➤ 動作電圧が600Vの場合、 $600V \times 6A = 3600W$

➤ 瞬間発電量が3600Wあることを示しています。

※日射量や気温によって瞬間発電量は常に変動します。



➤ 動作電圧が600Vの場合、 $600V \times 0A = 0W$

➤ 電圧600Vが出ても電流が0Aでは発電量は0W

18直列中14枚、影がかかって、当該回路が発電なくなります。